

平成 25 年 12 月 17 日

全国万引犯罪防止機構
事務局長 様

万防機構・正会員
高岡市議会議員・福井 直樹

調査報告について

貴殿からご依頼がありました、平成 25 年 12 月 1 日付け富山新聞「学童の標語で万引減る」について、関係者から聞き取りした結果を、下記のとおり、ご報告いたします。

記

1. 経緯

- ・バロー高岡木津店（林和宏・店長）と高岡警察署（松島義彦・副署長）清水交番（竹内晃成・所長）とは、かねてより高齢者による万引き増加に悩んでいた。立寄り警戒を増やしたり、万引き防止ポスターを掲示しても効果が出なかったが、犯行者の「孫と一緒にではできない」との供述に着目し、今年の 6 月に、近隣の高岡市立木津小学校（森田英宏・校長）に協力を求めた。
- ・木津小では、教育活動の一環として、自らが万引きをしない、灰谷健次郎の「チューインガム一つ」を引き合いに家族とともに万引きについて考える機会とするため、全校生徒（約 280 人）を対象に防犯標語の募集を行った。
- ・同校では、夏休み前の 7 月に P T A と協力して、優秀作 10 点、佳作 10 点を選出。この内、優秀作 10 点が同店のレジ前の柱に掲示してある。（添付のとおり）
- ・高岡署ではこの活動に対し、7 月末に感謝状と記念品を同校に贈呈した。

2. 効果

- ・同店では、高齢者による万引きが減少（1 月から月 1 件程度が、8 月以降はごくわずか）
- ・同署では、高齢者の万引き減少はもとより、万引きについて子供だけでなく、家族で考える良いきっかけとなった。子供の万引き防止にもつながると考える。（生活安全課・三橋了・地域安全係長）
- ・同校では、標語に「万引きは家族に対し申し訳ない」との内容が多かったことから、家族と一緒に万引きについて考える良い機会になった。結果として、高齢者の万引きが減少することに貢献できたことも良かったし、報道等で注目されることで家庭や生徒の意識向上にも役立ったと考える。

3. 私見

- ・今回の試みは「学校、家庭、警察」が連携した良いケースである。特に、近所の交番（竹内所長）と森田校長の熱意の大きさを感じた。
- ・今後の取組み拡大については、同校規模なら全校生徒対象は可能だが大規模校（500～600 人）での実施には課題があるとも聞いたので、教育委員会とも相談しながら調査・検討を進めて参りたい。
- ・今後、高齢化社会に対応する地域社会の取組みの事例等があれば、報告します。 以上

万引きは

笑顔をなくす 重い罪

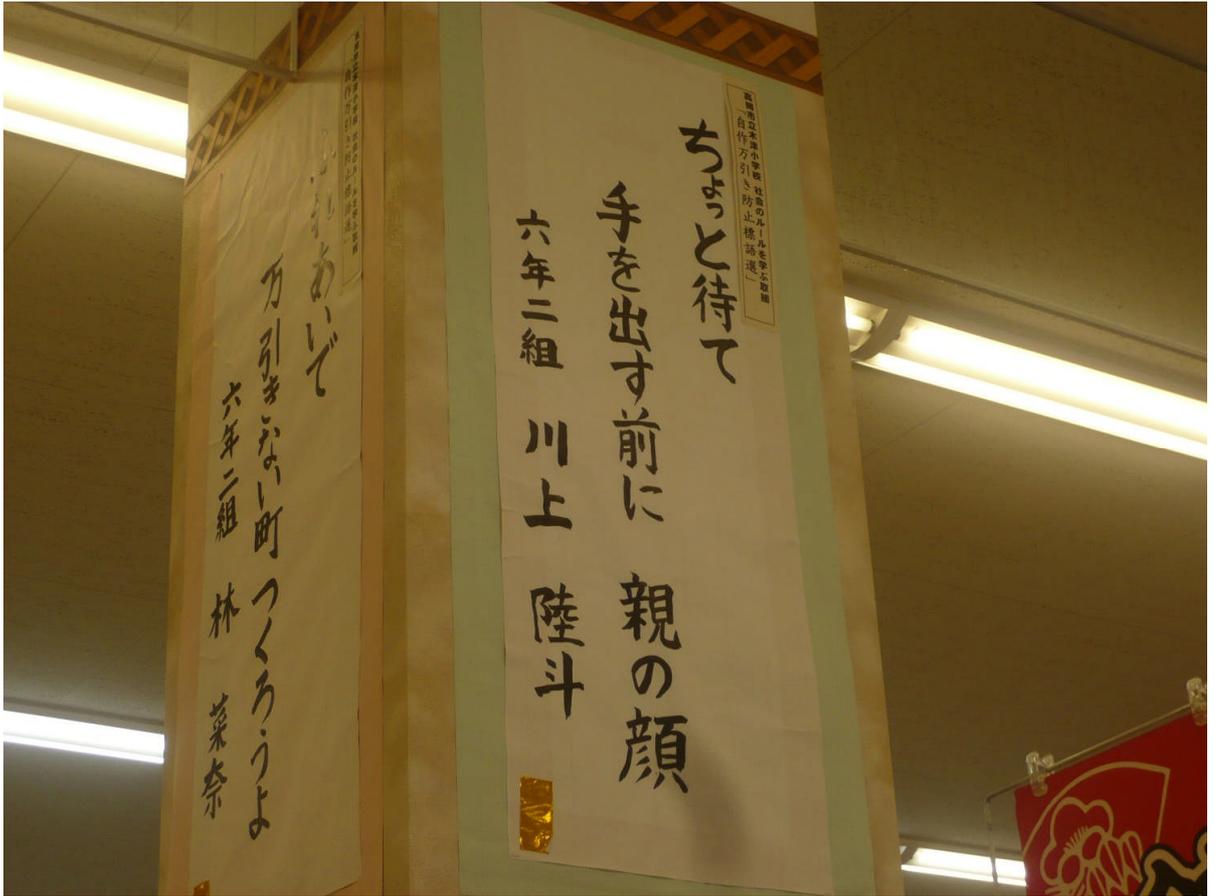
四年二組 東海 由奈



STOP!



物を盗る
自分の姿 好きですか
高岡警察署



高橋町立本郷小学校 社会科「1年生の夏休み」
自作「万引き防止標語」

ちやうと待て

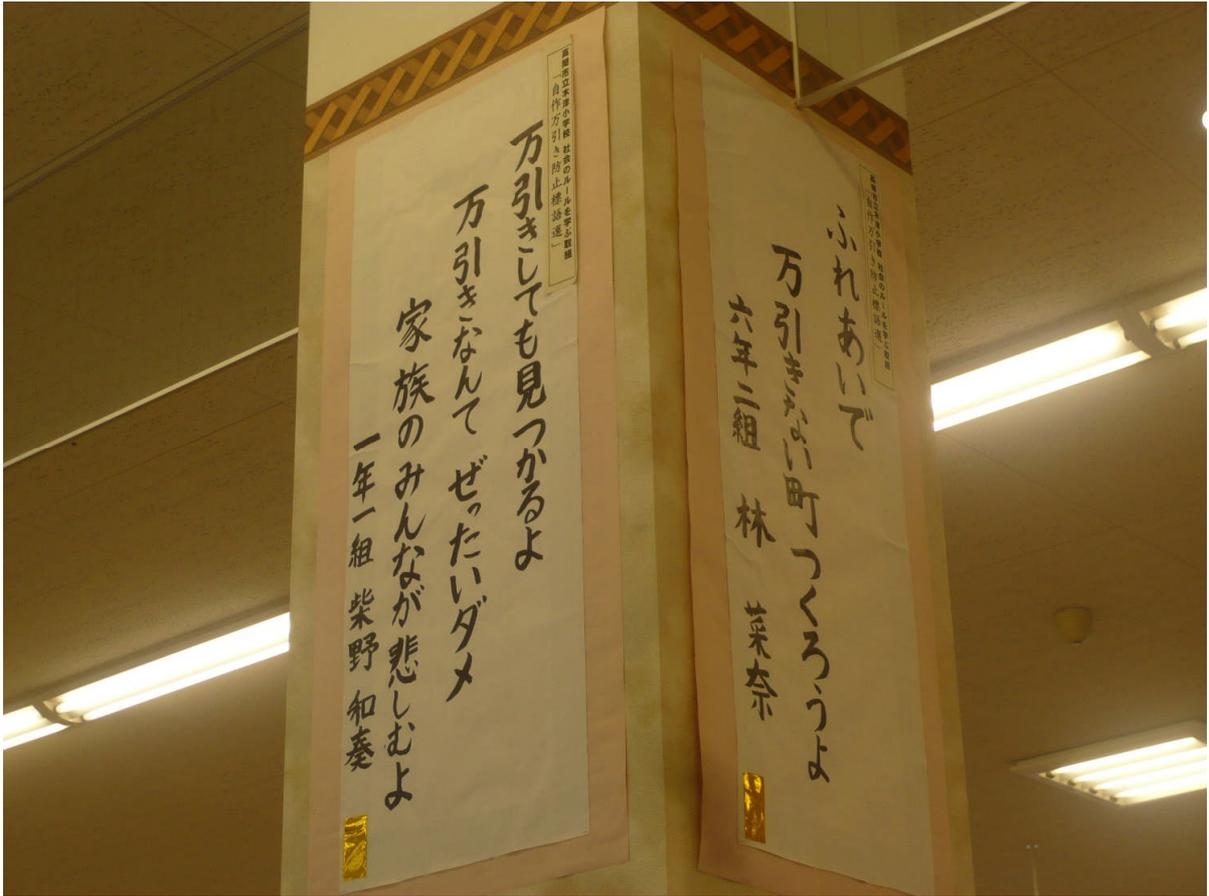
手を出す前に 親の顔

六年二組 川上 陸斗

万引き防止

万引きない町 つくろうよ

六年二組 林 菜奈



万引きしても見つかるよ

万引きなんて ぜったいダメ

家族のみんなが悲しむよ

一年一組 柴野和奏

ふれあい

万引きがい町 つくろうよ

六年二組 林 菜奈